市報
にいがた
平成８年
９月29日
第1544号
発行日 毎週日曜日 発行 新潟市 〒951 学校町通1-602-1 編集 総務部広報課 印刷 ㈱第一印刷所

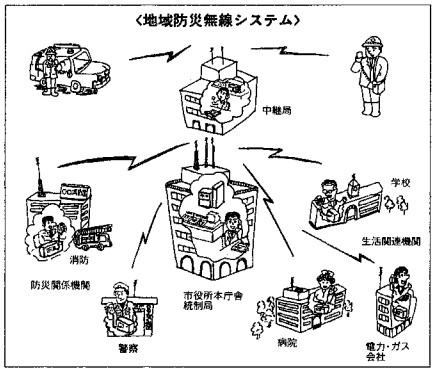
市の人口 〈８月末現在〉

人口	485,603人	(+185)
男	236,009人	(+101)
女	249,594人	(+84)
世帯数	178,602	(+127)

住民基本台帳による。（）は前月比

災害時の連絡体制を強化
地域防災無線システムを整備

市では、災害時の通信手段として「地域防災無線システム」を整備することとし、現在、九月定例市議会で審議されています。



同システムは、大きな災害の発生により電話回線の寸断などが起こっても、的確な情報を円滑に、双方向へ通信することができるもので、本年度末には、統制局、中継局を三局、一般局を約百八十カ所に約二百八十局設置する予定です。

同システムは、消防署や警察署などの防災関連機関や、水道・電気・ガスといったライフラインや病院などの生活関連機関にも無線局を設置。有事の際には、住民生活に深い関わりのある機関とも双方向の通信が可能となり、情報収集や情報伝達が迅速かつ効果的に行えるようになります。

市ではこれまで、海岸部や河口部を中心に津波情報や避難勧告をいち早く知らせる同報無線や、災害現場の状況を収集するための移動無線を設置してきました。しかし、同報無線は片方向のみ、移動無線は一回線のみの通信であり、設備の設置が行政の出先機関に限られていました。

同システムは、市役所本庁舎に設置される統制局と、各機関に設置される一般局で構成。統制局と一般局は、直接または中継局を介して、相互に通信を行うことが可能です。

また、最大六十回線を同時に使用できることから、話し中や混線などによる情報の停滞を防ぐことができます。

問い合わせ 交通防災課（☎内線2429番）へ

スワップミート'96秋 本日開催

日時 きょう二十九日午前十時～午後三時（雨天の場合は十月六日に開催）
会場 新潟テルサ向かい駐車場
※開催の有無については（☎249・5600）へ

この一票輝く未来の出発点！
県知事選挙は10月20日

県知事選挙が、十月二十日に行われます。選挙は、住民が政治に参加するための重要な機会です。貴重な一票を大切にしましょう。

選挙権などの要件は表の通りです。なお、入場券は三名連記で世帯主あてに郵送します。

不在者投票は3日から

投票日に仕事や用務などで投票できない人は、不在者投票をご利用ください。

期間 十月三日～十九日（投票日前日）まで

時間 午前八時半～午後五時（土・日曜日、祝日も同じ）

投票所 市役所第二分館一階、東地区事務所、中地区事務所、西地区事務所、北地区事務所、南地区事務所、石山地区事務所

持ち物 印鑑、入場券（郵送されている場合）

選挙権	住所異動した人の投票所
①年齢要件 日本国民で昭和五十一年十月二十一日までに生まれた人 ②住所要件 平成八年七月二日までに新潟市の住民基本台帳に登録され、引き続き居住している人	①市内転居 ○平成八年九月二十四日までに転居手続きをした人は新しい住所地の投票所 ○平成八年九月二十五日以降に転居手続きをした人は前の住所地の投票所 ②県内の他市町村からの転入（転出） 平成八年六月二十日以降に県内の他市町村から転入（転出）し、七月三日以降に転入手続きをした人は、現住所の市町村長から一引き続き県内に住所を有する旨の証明書一の交付を受け、その証明書を前住所地の投票所へ提示すれば投票できます。ただし前住所地の市町村の選挙人名簿に登録されていることが必要です。

問い合わせ 市選挙管理委員会（☎内線3303番）へ

10月8日
本庁地区で市政懇談会
市長と地域の課題を

地域の皆さんと市長が身近な課題について話し合う市政懇談会が本庁地区で開催されます。

地区で選んだ議題のほか、会場の皆さんから自由に発言いただく時間もあります。多数の参加をお待ちしています。

日時 十月八日午後一時半から
会場 中央公民館
対象 本庁地区（新潟島から関屋地区および入舟地区を除いた地域）在住の人
市側出席者 市長、ほか
問い合わせ 市民相談室（☎内線2062番）へ
※車での来場はご遠慮ください。

100歳以上が33人
市長が長寿を祝福

長谷川市長と和やかに話しながら庭を散策する大谷さん（左）

九月十五日敬老の日に、市では、新百歳の十人をはじめ八十歳以上の人、七十七歳、八十八歳、九十五歳の人に祝い品などを贈り、長寿を祝いました。

この日、長谷川市長は新百歳の大谷鍾三さん（牡丹山二）のお祝いに駆け付けました。お祝いの席上、市長は祝い金と祝い品、賞状などを手渡した後、和やかに歓談。

「お元気で何よりですね」と市長が話しかけると、大谷さんは「食事も好き嫌いなくよく食べます。自分の身の回りのことは自分でやりますし、家の手伝いをしたりと体を動かしています」と、また「健康の秘訣は歩くこと。一日に七千から八千歩は歩きます。孫やひ孫から届く手紙や電話が一番楽しみ」とかくしゃくと話していました。

歓談後、市長は大谷さんと庭を散策。市長は「これからもお元気で長生きしてください」と激励しました。

なお、市内で百歳以上の人は本年中に新百歳を迎える十人を含め三十三人になります。

この道一筋 ㊷

ソフトテニス　渡辺甚三郎さん（80歳、旭町通２）

戦後始まった国体の選手として活躍する一方、県テニス連盟で普及に当たる。市ソフトテニス協会会長を経て、現在は顧問。青少年の指導育成にも貢献してきた

「朝は六時から八時まで、夕方は石灰をまぶしたボールが見えなくなるまで」と渡辺さんは新潟商業学校当時の猛練習ぶりを語ります。在学中、全国中等学校大会準決勝へのシングルスでの進出は、この練習の成果。

テニスを始めたのは、卒業生が記念に残したテニス用具を使って始めた小学生の時。新潟商業学校に進学し、本格的に練習を始めた。昭和十二年に出来た白山コートもまだなく、新潟師範学校と新潟中学との間のリーグ戦が知られる程度だった。戦後、国体が始まり、選手として出場する一方、新潟国体開催の準備にも当たった。

ジュニア育成に尽くす

現在、小学生対象にジュニア教室を開くなど青少年の指導育成にも尽くしている。新庭球場も出来、テニスをする環境も整ってきた。「教室の子どもから全国大会出場者も育つようになって来ている。全国大会でも入賞できるように」これからも力を注ぎたいと言う。それでも渡辺さんにとってテニスは楽しみ。「同じレベル同士であればだれでもできる」と笑顔で語ります。

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

テニスガーデンにいがた	276－8900
園芸センター	286－1034
水道局	266－9311
市民病院	241－5151
東保健所	243－5311
石山地区保健センター	286－4450
鳥屋野地区保健センター	285－2373
北地区保健センター	259－7332
西保健所	266－5171
西地区保健センター	262－3405
坂井輪地区保健センター	260－3255

急患診療（市医師会・県歯科医師会）

急患診療センター	228－2822
休日歯科診療センター	283－3030

事業所・企業統計調査

10月１日は全国一斉に５年に一度の事業所・企業統計調査を行います。対象となるのはすべての事業所です。調査員が伺いますので、ご協力ください。

問い合わせ 総務課（☎内線2115番）へ

動く市政教室　下水道探訪

日時 10月22日午前９時半までに市役所第１分館１階集合（解散は午後２時半ごろ）
コース 東堀幹線発進基地～坂井輪ポンプ場～中部下水処理場
定員 37人（応募多数の場合抽選）
持ち物 昼食
申し込み 10月４日（必着）までに往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し市民相談室（学校町通1-602-1☎内線2062番）へ

坂井輪図書館 読書会

日時 十月九日午前十時～正午
会場 坂井輪地区公民館 ※読んでご参加ください
テーマ図書 「富士・武田泰淳著（中公文庫）
問い合わせ 同図書館（☎260・3242）へ